

平成 21 年第 4 回大仙市議会定例会会議録第 1 号

平成 21 年 12 月 4 日（金曜日）

議 事 日 程 第 1 号

平成 21 年 12 月 4 日（金曜日） 午前 10 時開議

- | | | |
|------|------------|---|
| 第 1 | 会議録署名議員の指名 | |
| 第 2 | 会期の決定 | （19 日間） |
| 第 3 | 議長報告 | ・ 専決処分報告（法第 180 条第 1 項関係）
・ 例月現金出納検査結果 |
| 第 4 | 議案第 204 号 | 副市長の選任について（説明・質疑・討論・表決） |
| 第 5 | 議案第 205 号 | 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
（説明・質疑・討論・表決） |
| 第 6 | 議案第 206 号 | 平成 21 年度大仙市一般会計補正予算（第 9 号）
（説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決） |
| 第 7 | 議案第 207 号 | 大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について
（説 明） |
| 第 8 | 議案第 208 号 | 大仙市立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について
（説 明） |
| 第 9 | 議案第 209 号 | 大仙市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
（説 明） |
| 第 10 | 議案第 210 号 | 大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について
（説 明） |
| 第 11 | 議案第 211 号 | 大仙市特別養護老人ホーム設置条例及び大仙市老人短期入所
施設設置条例の一部を改正する条例の制定について
（説 明） |
| 第 12 | 議案第 212 号 | 大仙市羽後境駅東集会施設条例の制定について（説 明） |
| 第 13 | 議案第 213 号 | 大仙市長期優良住宅建築等計画認定等手数料条例の制定につ
いて（説 明） |

第 1 4	議案第 2 1 4 号	大仙市建築基準法関係手数料条例の制定について（説 明）
第 1 5	議案第 2 1 5 号	大仙市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の制定について（説 明）
第 1 6	議案第 2 1 6 号	大仙市太田高齢者等活動・生活支援促進機械施設及び太田東今泉緑地広場の指定管理者の指定について（説 明）
第 1 7	議案第 2 1 7 号	大仙市中仙地域農業総合管理施設の指定管理者の指定について（説 明）
第 1 8	議案第 2 1 8 号	太田関根緑地広場等の指定管理者の指定について（説 明）
第 1 9	議案第 2 1 9 号	大仙市太田地域農産物等活用型総合交流促進施設及び太田新興緑地広場の指定管理者の指定について（説 明）
第 2 0	議案第 2 2 0 号	大仙市立太田就業改善センター等の指定管理者の指定について（説 明）
第 2 1	議案第 2 2 1 号	大仙市神岡生産物直売・食材供給施設の指定管理者の指定について（説 明）
第 2 2	議案第 2 2 2 号	大仙市神岡交流促進センターの指定管理者の指定について（説 明）
第 2 3	議案第 2 2 3 号	協和温泉（四季の湯）の指定管理者の指定について（説 明）
第 2 4	議案第 2 2 4 号	大仙市南外ふるさと館の指定管理者の指定について（説 明）
第 2 5	議案第 2 2 5 号	太田ふれあいの里及び太田農村体験の里の指定管理者の指定について（説 明）
第 2 6	議案第 2 2 6 号	大仙市まほろば唐松中世の館及び大仙市工学博士物部長穂記念館の指定管理者の指定について（説 明）
第 2 7	議案第 2 2 7 号	大仙市まほろば唐松公園施設の指定管理者の指定について（説 明）
第 2 8	議案第 2 2 8 号	大台スキー場等の指定管理者の指定について（説 明）
第 2 9	議案第 2 2 9 号	史跡の里交流プラザ「柵の湯」等の指定管理者の指定について（説 明）
第 3 0	議案第 2 3 0 号	笹倉公園等の指定管理者の指定について（説 明）

第 3 1	議案第 2 3 1 号	太田南部地区公園等の指定管理者の指定について（説 明）
第 3 2	議案第 2 3 2 号	太田北部地区公園の指定管理者の指定について（説 明）
第 3 3	議案第 2 3 3 号	大仙市立太田農村環境改善センター及び大仙市太田北部地区 多目的研修センターの指定管理者の指定について（説 明）
第 3 4	議案第 2 3 4 号	大仙市南外民俗資料交流館の指定管理者の指定について （説 明）
第 3 5	議案第 2 3 5 号	神岡中央公園（屋内多目的施設）等の指定管理者の指定につ いて（説 明）
第 3 6	議案第 2 3 6 号	大仙市民プール等の指定管理者の指定について（説 明）
第 3 7	議案第 2 3 7 号	大仙市太田トレーニングセンター等の指定管理者の指定につ いて（説 明）
第 3 8	議案第 2 3 8 号	平成 2 1 年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更 について（説 明）
第 3 9	議案第 2 3 9 号	平成 2 1 年度大仙市一般会計補正予算（第 1 0 号） （説 明）
第 4 0	議案第 2 4 0 号	平成 2 1 年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）（説 明）
第 4 1	議案第 2 4 1 号	平成 2 1 年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第 4 号）（説 明）
第 4 2	議案第 2 4 2 号	平成 2 1 年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）（説 明）
第 4 3	議案第 2 4 3 号	平成 2 1 年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）（説 明）
第 4 4	議案第 2 4 4 号	平成 2 1 年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第 3 号）（説 明）

出席議員（30人）

1 番 大 野 忠 夫	2 番 佐 藤 文 子	3 番 後 藤 健
4 番 佐 藤 隆 盛	5 番 藤 井 春 雄	6 番 杉 沢 千恵子
7 番 茂 木 隆	8 番 小 山 緑 郎	9 番 小 松 栄 治

10番 富岡喜芳	11番 佐藤清吉	12番 石塚 柏
13番 金谷道男	14番 武田 隆	15番 渡邊秀俊
16番 高橋敏英	17番 菊地幸悦	18番 佐藤芳雄
19番 大山利吉	20番 北村 稔	21番 高橋幸晴
22番 本間輝男	23番 橋本五郎	24番 藤田君雄
25番 橋村 誠	26番 佐藤孝次	27番 千葉 健
28番 鎌田 正	29番 竹原弘治	30番 児玉裕一

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

市 長	栗林次美	副 市 長	久米正雄
副 市 長	山王丸愛子	教 育 長	三浦憲一
代表監査委員	福原堅悦	総 務 部 長	老松博行
企 画 部 長	小松辰巳	市民生活部長	元吉峯夫
健康福祉部長	武藤芳和	農林商工部長	藤原 薫
建 設 部 長	中嶋喜代博	病院事務長	伊藤和保
水道局長	藤田良雄	教 育 次 長	高橋修司
教 育 次 長	藤原保子	総 務 課 長	進藤雅彦

議会事務局職員出席者

局 長	田口誠一	参 事	高橋 薫
主 幹	伊藤雅裕	主 査	菅原直久
主 事	中川智晴		

午前10時00分 開 議

○議長（児玉裕一君） おはようございます。

これより平成21年第4回大仙市議会定例会を開会いたします。

市長から招集のあいさつがあります。栗林市長。

○市長（栗林次美君）【登壇】 皆さん、おはようございます。

招集のごあいさつを申し上げます。

本日、平成21年第4回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、人事案件2件、条例案9件、単行案23件、補正予算案7件の合計41件となっております。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

なお、この場をお借りいたしまして、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況についてご報告させていただきます。

はじめに、総務部関係について申し上げます。

本年度の職員採用試験につきましては、一般行政事務及び技術系の職員合わせて176名の申し込みがあり、第1次・第2次試験の結果、最終合格者を事務職11名、建築・土木職6名の計17名としております。

防災対策につきましては、11月9日に日本電信電話株式会社秋田支店と「災害復旧時の協力に関する協定」の調印をしております。

協定の主な内容であります。災害時の通信災害の情報交換や避難所への特設公衆電話の設置及びNTT所有の移動電源車や衛星通信車両などを提供していただくものであります。

これにより、本市が締結する災害時協定は、神奈川県座間市や県内12市など23市町村のほか、東北電力やNTTなど4団体、物資食糧などの供給をしていただく民間企業が10社23店舗となりますが、今後はライフラインの確保などのため、建設業関係並びに電気工事及び管工事関係企業との協定締結を進めてまいりたいと考えております。

新型インフルエンザの11月末における市内小中学校及び幼稚園・保育園の感染状況につきましては、小学校では児童全体の28.2%に当たる1,184人が感染し、中学校では同じく29.1%の703人、幼稚園・保育園では19.0%の537人が感染している状況であります。

また、市内の高等学校につきましては、生徒全体の22.9%に当たる518人が感染している状況にあります。

ワクチン接種につきましては、11月16日から妊娠されている方及び基礎疾患のある方に対する接種が始まっており、1歳から4歳までの幼児については12月7日から接種が始まる予定であります。

発熱外来センターにつきましては、１１月７日に仙北組合総合病院内に設置して以来、１１月末までに延べ７４２人の方が受診しており、年齢別に見ますと、１歳から９歳までが２８５人と多く、次に１０歳から１９歳までが２８１人となっており、全体の７８％が１９歳以下となっている状況であります。

今後とも、大曲仙北医師会並びに仙北組合総合病院との密接な連携のもと適切な対応をしてまいります。

次に、企画部関係についてであります。

定額給付金事業につきましては、本年３月１６日に申請の受け付けを開始し、申請期間として定められた６カ月を経過した９月１６日に申請を締め切っており、１０月１３日の最終振り込みをもって事業が終了しております。

この間、事業内容や申請手続きについて市広報等を通じて周知を図ったほか、申請の締め切り日近くにおいて、まだ申請されていない方々には個別に連絡をとるなど、できるだけ多くの市民の皆様に応援していただくよう努力してきたところであります。

事業の実績についてであります。対象世帯３万９１１世帯のうち申請世帯数が３万７６６世帯で、申請率は９９．５３％であり、給付については対象者９万２，８４８人のうち給付者数が９万２，６８２人で、給付率は９９．８２％、給付額は１４億４，７７８万４千円となっております。

西仙北インターチェンジのＥＴＣ専用スマートインターチェンジ整備事業につきましては、市道と接続させるランプの改良舗装工事並びに電気設備工事を１０月に発注済みであり、平成２２年度中の供用開始に向け、東日本高速道路株式会社とともに施設整備を進めてまいります。

また、インターチェンジの利用者増を図るため、市民及び市内事業所を対象に、新規にＥＴＣ車載器を取り付けた車両１台につき３，０００円を補助する事業につきましては、１１月２０日をもって申請の受け付けを終了しており、補助金を交付した車両台数は個人所有分９６３台、事業所所有分が４８台の計１，０１１台となっております。

大仙市誕生５周年記念式典事業につきましては、本年第６回市議会臨時会でご報告申し上げ、既に広報により市民憲章に盛り込むキーワードの募集を実施中ですが、この市民憲章の制定と功労者等の表彰を合わせた記念式典を平成２２年３月２２日に開催いたしたく、今次定例会に関連する予算の補正をお願いしております。

男女共同参画事業につきましては、１１月１５日に中仙市民会館において、向井万起

男氏による講演会並びに男女共同参画に関する写真・一行詩コンクールの表彰式を行っております。

なお、今回で3回目となるコンクールには1, 144点の作品の応募があったところでもあります。

国際交流につきましては、本年2月20日に国際教養大学と締結している「国際交流に関する連携プログラム協定」に基づき、市内小中学校の児童・生徒並びに幼稚園・保育園の園児が国際教養大学の留学生と学校行事等を通じて交流を図っております。

9月から12月まで行う第Ⅱ期の活動は、中学校2校、小学校15校、幼稚園3園、保育園5園で延べ40回の交流が予定され、7月まで行った第Ⅰ期と比べ倍以上の交流活動となっており、日常的に異文化に触れることができる貴重な体験の場となっております。

また、協定締結を記念し、10月31日に協和市民センターで「国際化と地域活性化を目指して」と題した公開講座を国際教養大学と共催で開催しております。

次に、市民生活部関係についてであります。

消防関係につきましては、平成23年5月末までに既存住宅への住宅用火災警報器の設置が義務化されておりますが、本市の住宅においては設置率が低く、これを少しでも高めようと本年度申請のあった70歳以上の高齢者世帯など2, 256世帯に対し、10月22日から11月30日までに市が無償で火災警報器を設置したほか、生活保護162世帯については12月10日までに設置を完了する予定であります。

なお、設置に当たりましては、市の区域を29の区域に分割し、それぞれの地元業者に発注しており、地域の経済効果と火災警報器設置制度の周知をねらいとして実施したところであります。

また、秋田県消防協会大仙市仙北市美郷町支部が主催する「中学生防火弁論大会」が、11月9日に西仙北東中学校を会場に開催され、市内西部地域の6中学校の代表生徒が意見発表を行い、防火防災意識の高揚を図っております。

安全・安心まちづくりにつきましては、大曲、南外及び太田地域において「安全・安心まちづくりアカデミー」を10月30日から12月3日まで5回にわたり開催しております。

また、11月17日には第2回安全・安心まちづくり推進集会を大曲市民会館小ホールで開催し、約450名の参加をいただき、防犯や青少年健全育成などにご尽力のあつ

た6個人、1団体の表彰と本年の箱根駅伝で東洋大学を優勝に導いた本県出身の同大学陸上競技部コーチ佐藤^{ひさし}尚氏による基調講演を行っております。

地球温暖化防止につきましては、環境学習事業を8月に実施したほか、市内全校の小学4年生が取り組んだ「子どもエコチャレンジ」では、児童686名が1週間で308kgの二酸化炭素を削減し、「環境家族宣言」に参加した市内全中学校の1,645世帯6,609名は1週間で3,925kgを、同じく公募により参加した一般市民の152世帯491名は1カ月で1,696kgの二酸化炭素を削減しております。

また、走行中に二酸化炭素を全く排出しない電気自動車を県内の自治体で初めて公用車として導入しており、「秋の稔りフェア」において一般市民を対象に試乗会を開催し、65名の市民が電気自動車の運転を体験したほか、南外地域の秋まつりでも展示を行っております。

現在は、稲わらの不法焼却防止や廃棄物の不法投棄パトロールなどに利用しており、今後とも低炭素社会に向けたシンボルとして電気自動車を活用しながら市民の環境意識の向上を図ってまいります。

レジ袋削減につきましては、10月を「NOレジ袋推進月間」と定め、市内4カ所のスーパーマーケットで「NOレジ袋推進キャンペーン」を実施したほか、テレビCMの放映や保育園保護者会などの会合に出向いてPRを行うなど、レジ袋削減の啓発に努めております。

粗大ごみにつきましては、大曲地域及び仙北地域が有料戸別収集、その他の地域が無料拠点収集と、それぞれ収集体制が異なっており、「ごみ減量化」「排出者責任の明確化」「負担の公平性の確保」の観点から、平成22年度から有料戸別収集に統一するための取り組みを進めております。

これまで各地域協議会や保育園保護者会、婦人会等に出向いて説明を行ったほか、市広報で周知を図っており、今後は各地域において住民説明会を開催する予定であります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

地域福祉計画の策定を契機として、今後の地域福祉の在り方や新たな支え合いの姿を目指そうと11月30日に「地域福祉シンポジウム」を仙北ふれあい文化センターで開催し、一般市民や福祉関係者など約600名が参加しております。

シンポジウムでは、日本社会事業大学の大橋学長による基調講演や事例報告のほかパネルディスカッションが行われ、今後の地域福祉に関する施策の展開などについて活発

な意見交換がなされたところであります。

敬老会につきましては、９月１日から２５日までの間に１４会場で開催し、全体で４，８６１名の方が出席されており、盛会裏に終了しております。

金婚式につきましては、１０月２０日に仙北ふれあい文化センターで開催し、９７組の出席のもと、結婚５０年を祝福しております。

高齢者等除雪サービス事業につきましては、冬期間、自力で除排雪が困難な世帯を対象に、１１月末現在で２４０名の方から申し込みを受けております。

また、増床工事を施工中の西仙北地域の特別養護老人ホームにつきましては、２０床増床の「ありすの街」は１１月末で工事を完了し、各種検査や手続き等を経て平成２２年１月中旬の開設予定と伺っております。

一方、３０床増床の「ウォームハート」については、工期を平成２２年２月末とし、同年４月１日から開設予定と伺っております。

病氣中、または病気の回復期のため集団保育が困難な児童を一時的に預かる「病児・病後児保育事業」につきましては、大曲地域の「吉村クリニック」に加え、新たに１０月から西仙北地域の「生和堂医院」に開設していただいたところであり、今後は本市全域において事業の周知に努め、子育て家庭の負担の軽減を図ってまいります。

また、本年度、子育て支援に関する「大仙市次世代育成支援行動計画」の後期計画を策定することにしておりますが、その基礎資料とするため実施したアンケート調査の結果がこのほどまとまりましたので、１２月１６日号の市広報に掲載し、市民に公表してまいります。

次に、農林商工部関係についてであります。

稲作につきましては、１０月１５日現在の農林水産省統計では、全国の作況指数は「９８」のやや不良となっており、秋田県は「９９」、県南は「１０１」のいずれも平年並と発表されております。

本年産米の管内の買い入れ状況につきましては、ＪＡ等集荷業者の取りまとめによる１１月１８日現在の集荷状況は１０１万７，２８３俵の集荷目標に対し９４万４，０６９俵、集荷率は９２．８％となっており、一等米比率は９８．０％であるとの報告を受けております。

また、先般、平成２２年度産米の都道府県別生産目標数量が県から公表されましたが、本県は前年比で５，２９０ｔの減と、新潟県に次いで大きな削減量となっております。

加工や直売を行っているグループ等から要望のあった米粉製粉機につきましては、10月21日に物産中仙株式会社へ導入しております。今後の製粉要望や学校給食用米粉パンの原料製造などの利用促進のため、関係者による「米粉利用促進連絡会議」を発足したところであります。

遊休農地の調査と再利用並びに求職者の雇用とを結び付けた事業を行うために設立した「大仙市遊休農地活用センター」につきましては、センター長以下7名で10月から活動を開始しており、現地調査は神岡地域から行っております。

平成11年度から実施の中仙南部地区担い手基盤整備事業並びに平成12年度から実施の仙北地域堀板地区担い手基盤整備事業につきましては、無事事業が完了し、それぞれ10月20日と23日に竣工式を挙行しております。

秋の稔りフェアにつきましては、10月24日・25日の両日、市役所駐車場、体育館、武道館、市民会館などを会場に開催し、天候にも恵まれたことから多くの人出で賑わったところであります。

また、各地域におきましても、中仙地域のジャンボうさぎフェスティバルをはじめ文化祭、地域祭、公民館まつりなどの多彩な催しが開催され、多くの市民に楽しんでいただいております。

第132回秋田県種苗交換会につきましては、10月30日から11月5日まで秋田市を会場に開催され、出品総数2,081点のうち本市からは214点が出品されており、農林水産大臣賞を「水稻」部門で、また全国農業協同組合中央会会長賞を「水稻」部門、「株大豆」部門で受賞するなど、個人・団体合わせて46組が受賞し、本市農業の高い生産技術が評価されております。

第2回目の「大仙農業元気賞」につきましては、11月2日、市内の若手農業者で新たな農業に挑戦し地域のリーダーとして頑張っておられる4名を表彰しております。

協和地域の美山湖フェスティバルにつきましては、10月4日に開催され、約2,100人の市民が民謡ショーや魚のつかみ取りなど、秋の一日を満喫しております。

また、西仙北地域で開催の東北将棋大会につきましては、11月5日から8日までの学生大会に東北の6大学から53名、8日の市長杯争奪戦の名人戦・一般・小学生の部に79名が参加し、それぞれ熱戦が繰り広げられております。

本市の新たな観光コースを発掘し、滞在型観光の推進を図ることを目的とした観光モニターツアーにつきましては、11月7日に国指定名勝「池田氏庭園」の秋季特別公開

や酒蔵巡り、川ガニ料理体験などを組み入れて開催され、市内外から28名の参加を得たところであります。ツアー後、参加者全員から貴重なご意見をいただき、これを参考に今後の観光コースのメニューづくりや情報発信に活かしたいと考えております。

本年第3回市議会定例会でご承認いただいた観光圏整備事業につきましては、近隣市町村と連携を図り、2泊3日以上滞在型観光を推進する「観光圏の形成」を目指し、現在計画づくりを進めており、平成22年度以降の事業実施に向け関係市町村と協議を続けております。

出稼ぎ対策につきましては、11月末現在の出稼ぎ者数は254名となっており、前年同期と比べ34人減少しております。

また、大曲仙北医師会のご協力により実施されている市内医療機関での就労前健康診断の受診状況は、84件との報告を受けております。

ハローワーク大曲管内における平成22年3月高校卒業予定者の就職状況につきましては、10月末現在で求人する事業所が前年同期と比べ25.3%の減少となっており、求人数も52.7%減少しております。

本市が10月末現在で調査したハローワーク大曲管内の高校10校の市内在住生徒の状況については、就職希望者241名に対し、内定者は全体の約7割に当たる163名となっており、未内定者に対しては各学校で就職等の進路指導を今後も積極的に実施していくとのことであります。

このように就職環境が大変厳しいことから、10月23日にハローワーク大曲、秋田県仙北地域振興局、大仙市、仙北市、美郷町からなる「仙北地域雇用促進連絡会議」の主催により、「仙北地域新規高卒者就職面接会」を開催しており、61名の生徒が面接を行った結果、10月末現在で3名の生徒が内定しております。

今後においてもハローワークなどと連携を図りながら、一般の求職者を含めた合同面接会などを計画し、早期就職につながるような支援を実施してまいります。

また、現下の厳しい雇用情勢に対応するため、各高等学校、関係機関と連携を密にし、就職内定状況や国・県の支援制度等を見極めながら、市が実施する今後の支援策を検討してまいります。

技能功労者表彰につきましては、11月24日の表彰式において、建築大工、塗装、電気工事、自動車車体整備の4分野から5名の方々を顕彰しております。

企業対策につきましては、神岡地域で進められている県の新規工業団地整備事業は、

10月13日から1年間にわたる環境アセスメント調査に入っており、調査に当たっては、地元自治会長並びに広報等を通じて協力を呼びかけております。経済危機対策として実施している企業支援・雇用維持緊急助成金につきましては、営業日における休業時間に行う奉仕活動に対して助成するものであり、11月末現在で3社に助成金を交付しております。

企業誘致に関する動きでは、近い将来の当市進出を前提に、県外企業1社が新規高卒者2名の採用を内定しております。

次に、建設部関係についてであります。

大曲中学校屋内体育館建設工事につきましては、工事着工が遅れていることについて11月の市議会臨時会においてお詫び申し上げるとともに、早期着工に向けて工事関係者との調整を進めていることをご報告申し上げたところであります。

工事につきましては、11月下旬から現場での準備作業に着手し、12月初めから杭打ち工事に入っており、予定工期の平成23年3月までの完成を目指しております。

なお、この件につきましては、本日の本会議終了後に議員全員協議会の開催をお願いしております。

道路整備につきましては、市単独の道路改良工事29路線のうち12路線が完了し、11路線が発注済みのほか、地域活力基盤創造交付金事業4路線及び地方特定道路整備事業1路線については、すべて発注済みとなっております。

本年度6月補正の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業につきましては、道路改良工事47路線のうち19路線が完了し、25路線が発注済みであり、橋梁の塗装工事については27橋のうち6橋が完了し、16橋が発注済みであります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業の建物移転につきましては、大曲中通町地区及び大花町地区の本年度移転対象物件26戸のうち22戸の権利者と契約済みであり、現在、残る権利者と交渉中であります。

道路工事につきましては、現在施工中の区画道路8号線が今月中旬に完成する見込みであり、整地工事及び水路新設工事については、建物移転契約が整い次第、順次発注の予定であります。

また、大花都市再生住宅につきましては、全52戸のうち当初入居計画13戸を上回る20戸が入居済みであります。

大仙市都市計画マスタープランに基づき用途地域策定業務及び都市計画区域の変更案

作成業務につきましては9月に発注済みであり、11月末現在の進捗率は約40%となっております。

大曲駅周辺地区まちづくり交付金事業につきましては、駅東16号線道路舗装工事、しあわせ公園及び地域交流センター造成工事が完了しており、10月26日には平成22年度完成を目指している地域交流センター建設の安全祈願祭が執り行われております。

羽後境駅周辺地区まちづくり交付金事業につきましては、本年度が最終年度となっており、荻谷沢線道路整備工事は完了し、現在、駅東集会施設及び公営住宅8棟16戸の建築工事と荻谷沢中央公園の整備を進めております。

市営住宅の整備につきましては、地域住宅交付金事業で進めている西仙北地域の北ノ沢市営住宅2棟4戸の建築工事は、12工種の分離発注により今月上旬に完了する予定であります。

住宅マスタープランの策定につきましては平成22年度の完成を目指しており、10月中旬に指名型簡易プロポーザル方式により発注しております。

平成20年度から建設を進めてきた仙北ふれあい公園整備事業の「大仙市ふれあい体育館」は、11月30日に竣工式及び見学会を行い、12月7日から利用が開始されます。

住宅・建築物耐震診断事業につきましては、大仙市建築設計協会と協定を結び、事前相談を行いながら進めており、11月末現在の利用件数は3件となっております。

建築確認準備事務につきましては、「限定特定行政庁」の設置に向け、現在県との事前協議や関係機関との調整などを行っており、今次定例会で関連する条例案のご審議をお願いしております。

公共下水道事業につきましては、4地域において補助・単独合わせて20件の管路工事、延長4.5km分を発注済みであります。

農業集落排水事業につきましては、3地区において補助・単独分合わせて19件の管路工事、延長7.7kmが発注済みであるほか、処理施設建設工事については、太田地域三本扇地区において土木工事1件を発注しております。

次に、国・県関係工事についてであります。

雄物川中流部河川改修事業につきましては、刈和野橋から強首輪中堤左岸の用地調査測量区間2.9km及び買収済箇所盛土工事区間2.8kmを発注済みと伺っております。

ます。

緊急対策特定区間事業につきましても、事業推進のため引き続き用地補償を行うと伺っております。

また、南外地域西板戸地区につきましては、11月24日に地元説明会を終え、この後1.7km区間の現地調査測量に入る予定と伺っております。

国道13号神宮寺バイパス事業につきましては、宮田交差点から都市計画道路大坪線までの1.7km区間が10月24日に開通し、神宮寺地内の交通渋滞が解消されております。

大曲橋架け替え事業につきましては、橋梁下部工及び用地補償・水道施設補償が継続して行われております。

次に、水道局関係についてであります。

上水道事業につきましては、大曲橋架け替えに伴う大曲金谷町地区導水管の移設工事、南部流域下水道事業に伴う花館柳町地区配水管移設工事及び大曲通町地区配水管改良工事については、それぞれ9月末までに完了しており、大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う配水管移設工事を10月に発注しております。

簡易水道事業につきましては、平成19年度から23年度までの5カ年間の継続事業として発注している西仙北地域の大沢郷地区簡易水道施設整備事業については、配水管布設工事第1工区が86.8%、第2工区が76.4%、構造物建設工事が90%の進捗率となっております。

また、配水管布設工事の進捗に伴う現在の給水戸数は187戸であります。

仙北地域の戸地谷地区簡易水道施設整備事業につきましては、浄水場電気計装設備工事が37%、浄水場機械設備工事が80%の進捗率であり、浄水場外構工事は完了しております。

次に、教育委員会関係についてであります。

学校教育につきましては、昨年度から大曲中・大曲南中が取り組んでいる文部科学省指定「新しい環境教育の在り方に関する調査研究事業」の一環として、水中写真家の中村征夫氏いくおが両校の生徒を対象に講演をしており、魚の生態にたとえ、人を頼らず自立することの重要性についての話をされております。

また、本研究の成果をまとめ、電気新聞主催の第4回「エネルギー教育賞」に応募した大曲南中学校が同賞の最優秀賞に輝き、11月10日に東京で開催された授賞式に

臨んでおります。

また、豊成中学校生徒会が空き缶リサイクル活動の成果が認められ、生命保険会社などが主催する「ボランティア・スピリット賞」の「コミュニティ賞」を受賞しており、11月15日に札幌市で表彰を受けております。

発足後2年目を迎える大仙市PTA連合会につきましては、本年度から幼稚園・小学校・中学校に保育園も加わり、法人立・公立の幼児・小中学生の保護者の連携が深まってきております。

11月4日に開催された第1回目の研修会では、読売新聞特別編集委員で本県出身の橋本五郎氏から「子育て」をキーワードとした講演があり、盛会裏に終了しております。

また、11月19日には、ふるさと先生として本市中仙地域出身で千葉大学大学院医学研究院の鈴木信夫教授と、同院の日本細菌学会理事長である野田公俊^{まさとし}教授が中仙中学校を訪れ、全校生徒に「ミクロの世界からのメッセージ」と題して、ウイルス感染症などを含む微生物に関する講演を行っております。さらに野田教授には、平和中学校において同校の生徒及び神宮寺小学校・北神小学校の6年生児童を対象に、同様の講演を行っていただいております。

学校規模適正化につきましては、庁内関係職員による「学校規模適正化推進会議」を中心に推進しておりますが、西仙北地域においては幼稚園・保育園・小中学校保護者を対象に学校規模適正化に関するアンケート調査を行っております。その結果、回収率は91.1%であり、その中で「統合を進めてもらいたい」との意見が小学校・中学校の平均値で85%以上となっております。今後は西仙北地域学校規模適正化検討委員会を開催し、地域の方々との合意形成を図ってまいりたいと思います。

学校施設の耐震補強事業につきましては、耐震診断が必要な12小学校・9中学校・1幼稚園について、大きく3期に分けて耐震二次診断を実施しておりますが、このうち1期で発注した6校については耐震補強工事の実施設計も終了し、工事費予算措置のため国の地域活性化・公共投資臨時交付金の内示を待っているところであります。また、残りの15校と1幼稚園につきましては、今月末までに二次診断及び耐震補強計画をまとめるよう作業を進めております。

生涯学習の推進につきましては、9月6日に市民交流将棋大会を、9月27日に市民短歌大会を、10月3日と4日に子ども囲碁大会と市民囲碁大会を、11月15日には市民俳句大会をそれぞれ開催しております。

また、高齢化社会をテーマとした大仙市民大学講座を10月に5回開催し、延べ464人が受講しております。

11月7日・8日には、大仙市芸術祭が大曲市民会館で開催され、舞台芸能を中心に約2千人の方々から楽しんでいただいております。

9月5日に第14回民謡秋田おはら節全国大会が、11月23日には第2回秋田飴売節大会が開催され、それぞれ盛会裏に終了しております。

また、去る4月29日を皮切りに、市内8カ所で開催された出前民謡「ふるさと民謡めぐり」につきましては、11月1日の南外地域での開催をもって全日程が終了し、延べ1,630人の方々から楽しんでいただいております。

文化財保護につきましては、太田地域出身の鈴木空如の作品展を10月31日から11月4日まで太田文化プラザを会場に開催し、約580人の方々から鑑賞していただいております。

今回の作品展では、貴重な学術資料として評価されている「法隆寺金堂壁画」の模写をはじめ、本年度から開始した鈴木空如調査研究による生家所蔵の中から「四種護摩爐ししゅごまろ形本尊眷属像ぎょうほんぞんけんぞくぞう」を初めて公開し、学術的にも高い評価を受けたところであります。

また、空如は、「法隆寺金堂壁画」を生涯にわたり3回模写しているとされておりますが、所蔵者や関係機関のご協力をいただきながら11月の箱根吉池旅館所蔵の模写資料調査に続き、来年1月には国立博物館所蔵の模写資料についても調査を実施する予定であります。

11月7日・8日には、国指定名勝池田氏庭園特別公開を行い、外観修復工事の終わった洋館と周囲を彩る紅葉を、市民や市外・県外客など約6,300人から見学いただき、文化財の修理・保存の重要性を再認識していただいたところであります。

協和スキー場につきましては、第2ペアリフトの移設工事及び美山荘の改修のほか、一部コースの拡幅工事を進めてきたところでありますが、11月末には完了し、12月26日には竣工式とスキー場開きを行う予定であります。

次に、平成22年度当初予算編成について申し上げます。

本市の財政は、景気の低迷や人口の減少を受け、自主財源の柱である市税収入の落ち込みに加え、急激な少子高齢化社会に伴う社会保障費やこれまでの各種事業の実施に伴う市債償還額の増大により財政の硬直化が一層進んでおり、これまでにない厳しい状況に置かれております。

平成２２年度からは、合併支援関連の普通交付税及び県補助金が約６億円の減額となり、大幅な一般財源の不足が見込まれているほか、財政調整基金についても平成２１年度末残高が約９億円と見込まれていることから、これまで行ってきた歳入補てんによる予算編成は困難であり、今まで以上に歳出の抑制を図った予算の編成に努めなければならないと考えております。

一方、財政指標の一つである「実質公債費比率」が平成２０年度決算において１８．９％となり、地方財政法の定める基準値を超えたことから、今般策定した「公債費負担適正化計画」に則り、今後比率の改善に努めていかなければならないことを踏まえ、本計画の柱である「市債発行額の抑制」を的確に予算に反映させていくことにしております。

このような状況下、平成２２年度予算の編成に当たっては、昨年度の部局への枠配分方式から、すべての事務事業について必要性や内容を検討する一件審査方式に変更し取り組むことにしております。

また、各性質区分ごとに概算要求基準を定めて予算の積算を行うことにしたほか、補助金審査委員会の提言に基づいた市単独補助金の見直しも継続してまいります。

特段の予算措置を伴わずに職員の創意工夫や既存資源の活用などで住民サービスを行う、いわゆる「ゼロ予算事業」については、さらに積極的に取り組むこととし、「地域枠予算」については、各地域が主体性を持って諸課題に取り組むことで実績と効果を上げておりますので、なお一層の充実に努めてまいります。

本市は、これまで国に先駆けて独自の施策により子育て支援や高齢者対策等の充実に積極的に推進してきており、合計特殊出生率の向上などに施策の成果が確実に表れてきております。

平成２２年度予算編成に当たっても市民生活・福祉向上のため限られた財源を有効に活用し、創意工夫を持って将来を見据えた予算の編成に努めてまいりますので、今後とも市民並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げまして、招集のあいさつと諸般の報告とさせていただきます。ありがとうございます。

午前１０時５１分　開　議

○議長（児玉裕一君）　これより本日の会議を開きます。

○議長（児玉裕一君） 本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。

○議長（児玉裕一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、議長において、8番小山緑郎君、9番小松栄治君、10番富岡喜芳君を指名いたします。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から22日までの19日間といたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって、会期は19日間と決定いたしました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第3、この際、諸般の報告をいたします。

議会の委任による専決処分報告2件が市長から、及び例月現金出納検査結果が市代表監査委員からそれぞれ提出されましたので、別添お手元に配付のとおり報告いたします。

この際、議事の都合により、暫時休憩いたします。

午前10時52分 休 憩

.....
午後 1時37分 再 開

○議長（児玉裕一君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（児玉裕一君） 日程第4、議案第204号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。栗林市長。

○市長（栗林次美君）【登壇】 議案第204号、副市長の選任について、ご説明申し上げます。

本案は、当市副市長のうち、久米正雄氏の任期が来たる平成21年12月25日をもって満了しますが、同氏を再任いたしたく、地方自治法第162条の規定により議会の同意をお願いするものであります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご同意賜りますようお願い申

し上げます。

○議長（児玉裕一君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。議案第２０４号については、会議規則第３７条第３項の規定により、委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより議案第２０４号を採決いたします。本件は同意と決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、同意することに決しました。

ここで、ただいま再任されました久米副市長から発言の申し出がありますので、これを許します。久米副市長。

○副市長（久米正雄君）【登壇】 ただいまは私の副市長選任の人事案にご同意を賜り、ありがとうございました。

大仙市は合併後、これまで総合計画に基づき子育て支援や高齢者対策などのソフト事業、まちづくり事業、上下水道整備などのライフラインの整備、教育施設の整備など様々な事業を計画的に推進してまいりました。

しかしながら、地域医療の核となる仙北組合総合病院の改築、雇用対策や企業誘致、目まぐるしく変わる農業政策への対応など、課題、難題が山積しております。引き続き栗林市長をはじめ職員と一緒に議会とも十分話し合い、協議をしながら、一つ一つ進めてまいり所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第５、議案第２０５号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。栗林市長。

○市長（栗林次美君）【登壇】 議案第２０５号、人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて、ご説明申し上げます。

本案は、当市人権擁護委員のうち、伊藤忠志氏の任期が来たる平成２２年３月３１日をもって満了することから、その後任候補者について秋田地方法務局から推薦の依頼がありましたので、同氏を再推薦いたしたく、人権擁護委員法第６条第３項の規定により議会の意見を求めるものであります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご同意賜りますようお願い申し上げます。

○議長（児玉裕一君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。議案第２０５号については、会議規則第３７条第３項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより議案第２０５号を採決いたします。本件は同意と決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、同意することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第６、議案第２０６号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。老松総務部長。

○総務部長（老松博行君）【登壇】 それでは、ご説明申し上げます。

お手元の補正予算書〔12月補正（一般会計補正予算第9号）〕、薄い方の補正予算書をご覧くださいと思います。

1ページになります。

議案第206号、平成21年度大仙市一般会計補正予算（第9号）について、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、地域医療体制整備に関連する経費及びかみおか温泉「嶽の湯」源泉井戸改修工事に係る経費の補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ3,533万5千円を追加し、補正後の予算総額を454億2,831万5千円とするものであります。

それでは、補正予算の概要につきまして、事項別明細書により歳入から順にご説明申し上げます。6ページをご覧くださいと思います。

10款地方交付税は、普通交付税として3,533万5千円の補正であります。

歳出2款総務費は、地域の喫緊の課題である地域医療体制の整備を推進するため、地域医療中核施設となる仙北組合総合病院等の整備に向け、事業予定区域内の土地を取得する経費及び市街地再開発事業に係る費用便益を分析する地域経費、合わせて地域医療中核施設建設等推進経費といたしまして2,409万円の補正であります。

土地の取得につきましては、売り主側が年内での処分を希望しており、年内に所有権移転を完了させるため、また、費用便益分析が2カ月の作業期間を要することから本日の議決をお願いするものであります。

8ページになります。

7款商工費であります。神岡地域の「嶽の湯」におきまして源泉の井戸管及び揚湯管の洗浄工事を実施する計画で、所要額を当初予算及び9月追加補正予算に計上していましたが、予想以上にスケール等の付着がひどく、洗浄途中で揚湯管が切断されるなど難工事を余儀なくされたことに加え、水中ポンプ引き上げ作業においてポンプ頭部が引きちぎられ、ポンプ本体のほとんどが井戸内に残っております。原因といたしましては、スケールによりポンプ本体と井戸管の間が癒着したことによると考えられます。しかし、こうした状況におきましても自噴能力があることから、ポンプを残したままその上部に予備ポンプを設置し、揚湯試験を行い、また、井戸管内に洗浄工事により滞留しておりますごみ等について除去作業を行うとともに、先の工事中に破損した揚湯管を強度のある鉄製のものに交換するなど、これらに係る経費といたしまして嶽の湯温泉管理費とし

て1, 124万5千円の補正であります。

以上、議案第206号につきましてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（児玉裕一君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

議案第206号は、企画産業常任委員会に付託します。

委員会審査のため、暫時休憩いたします。本会議再開時刻は追って連絡いたします。

午後 1時46分 休 憩

.....

午後 2時49分 再 開

○議長（児玉裕一君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（児玉裕一君） 日程第6、議案第206号を再び議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。企画産業常任委員長25番橋村誠君。はい、25番。

○企画産業常任委員長（橋村 誠君）【登壇】 休憩前の本会議において、当委員会に審査付託となりました事件につきまして委員会を開催し、慎重審査いたしましたので、その経過、結果についてご報告いたします。

議案第206号「平成21年度大仙市一般会計補正予算（第9号）」につきましては、質疑において委員から「地域医療中核施設建設等推進経費については、費用便益分析委託料として309万円が計上されているが、この分析はどうしても必要なものであるか。」との質問があり、それに対して当局からは「市街地再開発事業を行うに当たって国に補助を申請するには、費用便益分析結果を記載する必要がある、また、専門業者でなければ分析ができないことから予算計上をお願いするものである。」との答弁がありました。

また、嶽の湯温泉管理費については、「ポンプを設置する位置によって湯が揚がってくる量が変わるが、その点は考慮されているのか。」との質問があり、「揚湯試験を行った結果、今回設置しようとしている位置が最適であることを確認している。」との答弁がありました。

その他、２、３の質問がありましたが、当局説明を了とし、討論はなく、採決の結果、本件は出席委員の一致をもちまして、原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上、報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより議案第２０６号を採決いたします。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決しました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第７、議案第２０７号から日程第４４、議案第２４４号までの３８件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。老松総務部長。

○総務部長（老松博行君） 【登壇】 それでは、ご説明申し上げます。

はじめに、お手元の議案書の方をご覧いただきたいと思います。

３ページと４ページになります。

議案第２０７号、大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

平成２０年４月１日から平成２２年３月３１日までの２年間の臨時措置といたしまして、灯油価格の高騰などに伴う市内温泉施設の経営負担を軽減するため、日帰りの場合における入湯税の税率を１５０円から５０円に低減しておりますが、経済情勢の悪化などにより依然として経営が圧迫されている状況であることから、本案は引き続き２年間、この措置を継続するものであり、平成２２年４月１日から施行することとしております。

次に、5 ページと 6 ページになります。

議案第 208 号、大仙市立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

仙北北保育園につきましては、老朽化や児童減少により廃止する方針でありましたが、用途廃止により国への補助金返還が生じるなどの理由から平成 15 年度以降は休止としてまいりました。

その後の国の基準緩和により補助金返還が不要となりましたので、本案は今般これを廃止するもので、平成 22 年 1 月 1 日に施行することとしております。

また、大仙市立保育所法人化実施計画に基づき、平成 22 年度にみつば保育園及び淀川保育園を社会福祉法人大空大仙に移譲するため、これらを廃止するものであり、平成 22 年 4 月 1 日から施行することとしております。

次に、7 ページと 8 ページになります。

議案第 209 号、大仙市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、まちづくり交付金事業により協和地域に整備中の野田第 3 市営住宅について、平成 22 年 3 月 1 日から供用を開始するため、名称及び位置を条例規定するもので、同日から施行することとしております。

なお、住宅は木造 2 階建てで 8 棟 16 戸となっております。

次に、9 ページと 10 ページになります。

議案第 210 号、大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

先般、秋田市在住の匿名希望の方から大曲住吉町地内の土地並びにその土地に整備した公園施設を市に寄附していただいておりますが、本案はこれを市の一般公園として市民の利用に供するため、名称を寄附者の命名による「ほのぼの公園」とするほか、公園の位置を規定するもので、公布の日から施行することとしております。

ほのぼの公園は、面積が 397 m²で、あずまや 1 棟、花壇 3 カ所及び広場が整備されております。

また、神岡中央公園及び仙北ふれあい公園について、これまで一般公園として規定しておりましたが、今般、改めて地区公園として位置づけるもので、公布の日から施行することとしております。

次に、１１ページと１２ページになります。

議案第２１１号、大仙市特別養護老人ホーム設置条例及び大仙市老人短期入所施設設置条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、大仙市立介護保険施設法人化実施計画に基づき、平成２２年度に特別養護老人ホーム峰山荘及びこれに併設する峰山荘指定短期入所生活介護事業所を社会福祉法人大仙ふくし会に移譲するため、これらの施設を廃止するもので、平成２２年４月１日から施行することとしております。

次に、１３ページから１７ページまでになります。

議案第２１２号、大仙市羽後境駅東集会施設条例の制定について、ご説明申し上げます。

本案は、協和地域の羽後境駅の東側に整備中の多目的集会施設について、平成２２年２月１日から供用を開始するため条例を制定するもので、同日から施行することとしております。

集会施設は、木造平屋建て、延べ床面積２１２．０８㎡で、多目的ホール、研修室などを備えております。

次に、１８ページから２０ページまでになります。

議案第２１３号、大仙市長期優良住宅建築等計画認定等手数料条例の制定について、ご説明申し上げます。

市におきましては、平成２２年度から建築主事を置き、建築基準法に基づく建築確認事務を行うこととして準備を進めておりますが、これに伴い長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき、長期優良住宅建築等計画の認定などの事務も併せて行うこととなります。

本案は、従来から同事務を行っている秋田県に倣い、当該事務に関する手数料を徴収することとし、必要な事項を定めるものであり、平成２２年４月１日から施行することとしております。

次に、２１ページから２６ページまでになります。

議案第２１４号、大仙市建築基準法関係手数料条例の制定について、ご説明申し上げます。

議案第２１３号の説明でも申し上げましたとおり、市におきましては平成２２年度から建築主事を置き、一定の種類及び規模の建築物等について建築基準法に基づく建築確

認事務を行うこととして準備を進めております。

本案は、従来から同事務を行っている秋田県に倣い、当該事務に関する手数料を徴収することとし、必要な事項を定めるものであり、平成２２年４月１日から施行することとしております。

次に、２７ページから２９ページまでになります。

議案第２１５号、大仙市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の制定について、ご説明申し上げます。

現在、市におきましては、中心市街地活性化基本計画を策定中ではありますが、都市計画の用途地域である準工業地域における大規模集客施設の立地制限を行うことが同基本計画の認定要件とされていることから、準工業地域を大規模集客施設の立地を制限する特別用途地区として都市計画決定することとしております。

本案は、これに伴い、建築基準法の規定に基づき、特別用途地区において建築を禁止する建物など必要な事項を条例規定するものであり、公布の日から施行することとしております。

なお、大規模集客施設とは、劇場、映画館、演芸場もしくは観覧場、または店舗、飲食店、展示場、遊技場、勝馬投票券発売所、場外車券売場、その他これらに類する用途に供する建築物であって、その用途に供する部分の床面積の合計が１万㎡を超えるものであります。

次に、３０ページから５１ページまでになります。

議案第２１６号から議案第２３７号までの２２件につきましては、関連がありますので一括してご説明申し上げます。

本２２件は、公の施設の指定管理者の指定について、地方自治法第２４４条の２第６項の規定により議会の議決をお願いするものであります。５９施設を対象といたしております。このうち更新する施設が大仙市太田高齢者等活動・生活支援促進機械施設など４８施設、新規に指定する施設が笹倉公園など１１施設であります。また、募集形態別では、公募した施設が大仙市太田高齢者等活動・生活支援促進機械施設など３８施設、公募によらないものが大仙市中仙地域農業総合管理施設など２１施設となっております。

また、指定の期間につきましては３年のものが大仙市まほろば唐松中世の館など１４施設、５年のものが４３施設、８年のものが太田ふれあいの里及び太田農村体験の里の２施設となっております。

次に、５２ページをご覧くださいと思います。

議案第２３８号、平成２１年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更につきましては、一般会計から繰り入れる額を既に議会の議決をいただいている４，１７８万８千円以内から４，４４１万１千円以内に改めることについて議会の議決をお願いするものであります。

続きまして、お手元の補正予算書〔１２月補正〕というものをご覧くださいと思います。

最初に１ページになります。

議案第２３９号、平成２１年度大仙市一般会計補正予算（第１０号）について、ご説明申し上げます。

今回の補正は、法人立等保育所負担金、生活扶助費、長期債の利子軽減を図るための借換実施に伴う長期債元金償還などについて補正を行うものであり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ９億４，７０９万９千円を追加し、補正後の予算総額を４６３億７，５４１万４千円とするものであります。また、債務負担行為の補正につきましては、土地改良事業費負担金及び指定管理料について追加するものであります。

それでは、補正予算の概要につきまして、事項別明細書により歳入から順にご説明申し上げます。

１１ページをご覧くださいと思います。

歳入１０款地方交付税は、普通交付税として６，９８９万７千円の補正。

１２款分担金及び負担金は、保育所保育料負担金として２，２０３万８千円の補正であります。

１４款国庫支出金は、２億７８４万７千円の補正であります。

国庫負担金は、保育所運営費負担金及び生活保護費負担金などとして２億５，９１２万６千円の補正。１２ページになりますけれども、国庫補助金は執行停止に伴う平成２１年度分の子育て応援特別手当給付事務費及び事業費補助金などとして５，１２７万９千円の減額補正であります。

１５款県支出金は、１億４，０３３万９千円の補正であります。

県負担金は、障がい福祉サービス事業費負担金や保育所運営費負担金などとして７，９０７万円の補正。県補助金は、すこやか子育て支援事業費補助金、新型インフルエンザワクチン実費負担軽減事業費補助金（県単分）などとして６，０６１万５千円の

補正であります。委託金は、統計調査費委託金などとして65万4千円の補正であります。

次に、16款財産収入は、土地売却収入として502万6千円の補正であります。

17款寄附金は、教育費寄附金及び、次のページになりますけれども民生費寄附金として、合わせて71万円の補正であります。

14ページになります。

19款繰越金は、前年度繰越金として581万円の補正。

20款諸収入は、コミュニティ事業助成金及び生活保護費返還金として、合わせて973万2千円の補正。

21款市債は、地域総合整備資金貸付事業債、長期債の利子軽減を図るために実施する繰上償還に係る借換債、土木施設災害復旧事業債として、合わせて4億8,570万円の補正であります。

次に、歳出になります。

16ページをご覧くださいと思います。

2款総務費は、5,027万7千円の補正であります。

主な補正の内容といたしまして、大仙市誕生5周年記念事業費は、平成22年3月22日に開催する記念式典並びに市民憲章の制定に係る経費として264万4千円の補正、地域総合整備資金貸付事業費は、2つの社会福祉法人が実施する特別養護老人ホームの増築工事等に対する地域総合整備資金の貸付事業費として6,000万円の補正、電子計算管理運営経費は制度改正に伴うシステム改修費などとして1,483万7千円の補正、大仙市長選挙執行経費及び大仙市議会議員一般選挙執行経費は、事業費の確定によりそれぞれ367万4千円、2,421万6千円の減額補正であります。

18ページになります。

3款民生費は、4億6,387万4千円の補正であります。

主な補正の内容といたしまして、大曲仙北広域市町村圏組合知的障がい者施設負担金は、旧後三年更生園移転改築に対する負担金について、新たな補助制度により21年度単年度事業を22年度までの継続事業としたことから2,861万円の減額補正、障がい福祉サービス給付費は、制度改正による報酬改定、利用者負担軽減による公費負担増に伴う扶助費などとして1億5,628万3千円の補正、地域密着型老人サービス事業所整備事業費補助金は、5カ所のグループホームが実施するスプリングラー設置事業に

対する補助金として1, 703万2千円の補正、子育て応援特別手当給付事務費及び事業費は、国の第1次補正予算での経済対策に係る事業でありましたが、事業の執行停止によりそれぞれ363万円、6, 840万円の減額補正、法人立等保育所負担金は、入所児童数の増加による負担金として2億3, 436万6千円の補正、生活扶助費等は、保護世帯、保護人員の増加などにより1億4, 631万3千円の補正であります。

次に、4款衛生費は、2, 222万円の減額補正であります。

主な内容といたしまして、大仙美郷環境事業組合負担金は、ごみ処理施設運営費の減により2, 416万4千円の減額補正、簡易水道費補助金は、中仙地域の1組合が実施する配水管の布設替え工事に対する補助金として、補助要綱に基づき22万7千円の補正であります。

20ページになります。

6款農林水産業費は、555万7千円の補正であります。

主な内容といたしまして、集落営農法人化推進事業費は、協和地域の1法人が設立されたことに伴い、補助要綱に基づき20万円の補正、土地改良事業費等補助金は、補助要綱に基づき単独事業に係る補助金及び簡易な基盤整備を支援する国の農地有効利用支援整備事業を活用した事業に対する補助金として、合わせて461万円の補正であります。

7款商工費は、235万9千円の補正であります。

主な内容といたしまして、協和地区温泉管理費は、去る10月に落雷により破損した機器の交換及び避雷器の設置に係る経費として223万円の補正であります。

22ページになります。

8款土木費は、643万7千円の補正であります。

主な内容といたしまして、地方道路交付金事業費（愛宕下、浮島・合貝跨線橋）につきましては、JRとの負担協定変更に伴う経費として400万円の補正、建築確認業務等準備事務費は、平成22年4月より建築確認等の事務を一部取り扱うことから、これに係る準備経費として228万7千円の補正であります。

次に、10款教育費は、1, 296万9千円の補正であります。

主な内容といたしまして、理科教育等設備整備費は、年次計画で理科・算数（数学）の備品を整備するもので、小学校では東大曲小ほか4校、中学校では大曲中、西仙北東中の2校を対象とし、それぞれ185万8千円、78万円の補正であります。次に、教

育振興費補助金につきましては、各種大会派遣費補助金として、小学校では大曲小・花館小学校のマーチングバンド全国大会に出場する経費などとして２３５万１千円の補正、中学校では大曲中学校がマーチングバンド全国大会に出場する経費のほか、その他の大会派遣費補助金交付見込額として、合わせて３０７万１千円の補正、すこやか子育て支援事業費は、補助対象者の増により３３５万９千円の補正であります。

２５ページになります。

１１款災害復旧費は、１１月の大雨により被災した公共施設のうち、協和地域の市道１カ所及び河川１カ所について実施する土木施設災害復旧費（単独分）として１１９万３千円の補正であります。

２６ページになります。

１２款公債費は、長期債の利子軽減を図るため繰上償還を実施することに伴う元金償還金として４億２，６６５万３千円の補正であります。

以上、一般会計であります。

次に、３１ページをご覧くださいと思います。

議案第２４０号、平成２１年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）につきましては、事業勘定及び診療所勘定について補正するものであります。

事業勘定は、平成２０年度療養給付費等負担金の確定に伴う返戻金等について補正するものであり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ６，３６４万４千円を追加し、補正後の予算総額を１０８億１，５７２万８千円とするものであります。

診療所勘定は、医療用消耗器材及び材料品費の購入等に係る補正であり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ１４５万３千円を追加し、補正後の予算総額を２億１，８２３万円とするものであります。

はじめに、事業勘定になります。３８ページをご覧くださいと思います。

歳入３款国庫支出金は、財政調整交付金として１２万９千円の補正、１０款繰越金は、前年度繰越金として６，３５１万５千円の補正。

歳出２款保険給付費は、制度改正に伴う出産育児一時金支払事務委託手数料として９千円の補正であります。

４０ページになります。

歳出１０款諸支出金は、５，５５２万９千円の補正であります。

内容といたしまして、返戻金は療養給付費等の精算額確定に伴い５，５４０万円の補

正、高額療養費特別支給金は平成２１年度の特例措置として、その見込額１２万９千円の補正。

１２款予備費は、給付費の伸びに備え、８１０万６千円の補正であります。

次に、診療所勘定になります。

４８ページをご覧くださいと思います。

歳入６款繰越金は、前年度繰越金として１４５万３千円の補正。

歳出１款総務費は、嘱託職員賃金として３１０万７千円の減額補正であります。

５０ページになります。

歳出２款医業費は、４５６万円の補正であります。

内容といたしまして、医療用機械器具費は、医療機器の導入完了に伴い５２５万円の減額補正、医療用消耗器材費は診療材料費の増加に伴い３４８万８千円の補正、医療用材料品費は注射薬等の医療用材料品の増加に伴い６３２万２千円の補正であります。

次に、５１ページになります。

議案第２４１号、平成２１年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第４号）につきましては、協和地域の簡易水道施設の維持管理費及び長期債の利子軽減を図るための借換実施に係る経費の補正であります。歳入歳出予算の総額に、それぞれ１，７６１万７千円を追加し、補正後の予算総額を１５億８，５８３万１千円とするものであります。

５７ページになります。

歳入５款繰入金は、一般会計繰入金として１７１万７千円の補正。

８款市債は、長期債の利子軽減を図るために実施する繰上償還に係る借換債として１，５９０万円の補正であります。

５８ページになります。

歳出１款総務費は、協和地域の簡易水道施設の維持管理費に係る一般管理費として１６９万６千円の補正。

３款公債費は、長期債の利子軽減を図るための繰上償還の実施に伴う元金償還金として１，５９２万１千円の補正であります。

次に、６１ページになります。

議案第２４２号、平成２１年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）につきましては、長期債の利子軽減を図るための借換実施に係る補正であります。歳入歳出予算の総額に、それぞれ２億２，６７５万円を追加し、補正後の予算総額を１８億

3, 652万2千円とするものであります。

67ページになります。

歳入4款繰入金は、一般会計繰入金として15万円の補正。

7款市債は、長期債の利子軽減を図るために実施する繰上償還に係る借換債として2億2,660万円の補正であります。

68ページになります。

歳出3款公債費は、長期債の利子軽減を図るための繰上償還の実施に伴う元金償還金として2億2,675万円の補正であります。

次に、71ページになります。

議案第243号、平成21年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、長期債の利子軽減を図るための借換え実施に係る経費の補正であります。歳入歳出予算の総額に、それぞれ7,096万5千円を追加し、補正後の予算総額を19億8,188万8千円とするものであります。

77ページになります。

歳入4款繰入金は、一般会計繰入金として6万5千円の補正。

7款市債は、長期債の利子軽減を図るために実施する繰上償還に係る借換債として7,090万円の補正であります。

次の78ページになります。

歳出3款公債費は、長期債の利子軽減を図るための繰上償還の実施に伴う元金償還金として7,096万5千円の補正であります。

次に、81ページになります。

議案第244号、平成21年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、大曲ファミリースキー場の圧雪車の修繕等経費及び協和スキー場の運営費に係る補正であります。歳入歳出予算の総額に、それぞれ262万3千円を追加し、補正後の予算総額を2億4,577万1千円とするものであります。

86ページになります。

歳入3款繰入金は、一般会計繰入金として262万3千円の補正。

歳出2款事業費は、大曲ファミリースキー場の圧雪車の修繕等経費及び協和スキー場の運営費に係るスキー場運営費として、合わせて262万3千円の補正であります。

以上、上程議案につきまして一括してご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、

ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（児玉裕一君） これにて本定例会に上程された議案についての説明が終了いたしました。

○議長（児玉裕一君） お諮りいたします。議案等調査のため、１２月５日から１３日までの９日間、休会いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって、１２月５日から１３日までの９日間、休会することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれをもって散会し、来たる１２月１４日、本会議第２日を定刻に開議いたします。

ご苦労様でした。

午後 ３時２０分 散 会

